



## 人権プログラム指摘したのに！

3月14日に、本荘中学校ソフトテニス部コーチの体罰事件のFAXが入りました。無所属クラブの議案精読の時に、教育委員会予算説明で部活動での暴力事件が質問されました。その時は、他都市（多治見市）の事例として質疑が交わされ「指導員への人権教育プログラムは準備されていますか？」の質問に「本当は教員が良いのですが・・・社会人指導員の予算を認めて頂きたい」の答弁。対し、「教員とか社会人とかではなく個人ですから、一人一人に人権の認識を高める研修をお願いします。」と、要望したところ「はい」と大きくうなずかれた。

しかし、新予算に入る前に、現在の人権現場指導が不十分である事例が岐阜市で顕在化しました。教育委員会と同じ建物には、地域での人権教育を推進する担当課も存在します。公民館での研修で「あなたのところは大丈夫？」と市民から質問されてしまう。

## 業者（戸田建設）の模擬試験で大丈夫？

### ペンキ塗り直し出来ないのは設計ミスでは・・・

3月14日、「メディアコスモス屋根下地鋼材の錆の対策に関する報告」が示されました。以前、岐阜市市民参画部が「直ちに、錆を落として、補修するように」と業者に要求したと記憶しています。その時点で、業者は「強度に影響は無いので、当面このままで・・・」と回答しているとの報告があったと記憶しています。

無所属クラブと細江市長との懇談の時に「錆は強度的に危険だから補修するのではないか」「基盤整備の橋や歩道橋では、10年で塗り直したいが、予算の関係で12年ほどで塗り直している」「屋内で4年もしないのに錆びる設計は、設計ミスではないか」と詰問した経過があります。懇談の後、細江市長は「直ちに塗り直すように言う」と記者発表。市民参画部が業者に補修要求。しかし、補修しないまま時間が経過。今度は「塗れない構造です」と言ってきました。最初から「強度に影響が無いから、ペンキ塗り直ししない」のではなく「塗りたくても塗れない構造なので塗れない」と謝罪すべきでは？

補修できない設計は「設計ミス」と言うのでは？ 仮設の乾燥機が常設になるのは当初設計が間違っていたのでは？ これを「設計ミス」と言わなくて、何を設計ミスと言うのか？ 新幹線の台車は実物を検査して、危険を確認しましたが、戸田建設は自分の試験場で別の鋼材を試験して、メディアコスモスは「安全」と宣言できるのか。30回の漏水。珍しい「夏型結露」。6ヶ月で狂う防火シャッターなどの「実績」を掲げて。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

# 市全体バランスと柳津公民館7館

3月13日（火）に柳津地区（合併前の旧柳津町）の公民館7館を視察させて頂きました。3年間ほどの間に7館は建設されています。青畳が入っていたり、絨毯がふわりとしたり、ますますの整備状況でした。7館の規模も仕様も同程度と思われました。

他の岐阜市内49地区の学校併設の公民館（各地区に一箇所）より大きく感じられました。午後2時半からの視察でしたが、使用中の館は一箇所もありません。以前から、人口バランスからも数が多すぎるとの指摘があります。常駐者は存在しませんが、カギを持っている管理者が近くに存在しており、閉館日の月曜日にも使用されている実態があるようです。合併前の慣習が色濃く残っているのでは？ と、感じられました。まず、一般住宅の建設可能な地区の3館は取り壊して、土地を売却して有効活用してはどうか？ との声が聞こえます。

## 長良川花火大会2回より多い6百万円

新予算には柳津町のまつり予算が600万円ほど出されています。長良川の中日新聞と岐阜新聞の花火大会2回分より多い金額です。経済効果を考えているのか？ 岐阜市と旧柳津町との合併の名残りは多く存在し、整理されないままです。細江前市長の合併施策は旧柳津町のおかげで形ばかり「合併」を実現しましたが、他の市町が合意を見ぬままの今日です。

旧柳津町への手厚すぎる予算配分を、他の49地区岐阜市民に説明できるように改革しなければ、前市長の選挙対策の遺産か？ との厳しい市民の声があります。価値を感じられない「道の駅」の整理（廃止）がされていない。体育館を新築したり新サービスばかりで、行政のバランスを欠いているとの指摘もあります。



松原のりかず  
☎058-253-2500